

能越道七尾氷見道路

女性技術者による現場見学会・意見交換会
結果概要

平成26年8月4日開催

地盤工学会北陸支部

富山河川国道事務所

1. はじめに

富山河川国道事務所と地盤工学会北陸支部は、今後の建設界への女性の入職促進や就労継続等に向け、女性技術者が働きやすい現場（職場）環境を創出することを目的として、女性技術者及び女子学生を対象とした現場見学会及び意見交換会を実施した。

本報告は、現場見学会・意見交換会の概要と、参加者（女性）と参加者の上司（男性）を対象に記載して頂いたアンケートの結果をとりまとめたものである。

2. 実施概要

2-1 日 時

平成26年8月4日（月） 14時～16時

2-2 場 所

現場見学会：国道470号能越道七尾氷見道路工事現場（氷見市中波地区、脇地区）

意見交換会：女良地区女性活動拠点施設（氷見市中波（女良漁港内））



2-3 参加者

北陸地方整備局（7名）、自治体〔富山市、金沢市、七尾市〕（10名）、建設会社（8名）、コンサルタント（6名）、調査会社（5名）、学生〔富山県立大、石川高専〕（5名）
合計 41名（すべて女性）

3. 現場見学会

現在施工中の能越自動車道氷見市脇地区、中波地区の道路工事現場で、情報化施工による大規模土工や大規模プロジェクトに欠かせないパイロット道路、北陸では能越道の現場で初めて試行された建設ICT技術「CIM（Construction Information Modeling）」等について、実際に工事に使われる重機や盛土材料を目の前にして、説明を受けた。参加者からは、「大規模な現場で驚いた。」「最新のICT技術がこれから普及してほしい。」等の感想が寄せられた。



脇地区で盛土材の説明を受ける参加者



中波地区で情報化施工を見学

4. 意見交換会

4-1 実施方法

参加者が6グループに分かれて、共通テーマとグループ毎のテーマを設定し、男性が退出した会場で意見交換を実施した。グループ分けは各業種の偏りが無いように配慮した。

4-2 意見交換会での主な意見

○女性の視点でみた現場に足りないもの

- ・女性が安心して使えるきれいなトイレや更衣室、休憩所が無い。
- ・育児休業、時短制度はあるが、気兼ねなく活用できる組織内の雰囲気が無い。
- ・女性のがんばりを性別に関係なく評価する男性の理解が無い。
- ・女性の体型に合った作業服が無い。オシャレなデザインが無い。
- ・男性が決めたルールが固定されており、柔軟性が無い。

○女性が技術者である事のメリット・デメリット

<メリット>

- ・女性は珍しいので、顔と名前をすぐに覚えてもらえる。
- ・対外的なことが穏やかに進められる傾向がある。
- ・男性に比較し、オープンな現場づくり、業界の魅力発信に適している。

<デメリット>

- ・勤務時間が不規則（朝早い、夜遅い）なので、家庭を持つと適応できないことがある。
- ・女性というだけで補助的な役割と思われる。相手の意識が変化して対等に話しができるまでに男性よりも時間がかかる。
- ・対外的には、業者や一般の方に事務職に見られ、責任者として話しを聞こうとしても男性に代わるように言われてしまう。
- ・会社の内部的には、結婚してやめるかもしれないという意識があり、同僚の男性に対する指導内容とに差がある。
- ・女性だからやらなくてもよい等言われ、仕事内容に男性と差がある。意欲のある女性でも、男性の仕事と決めつけられると現場に行きにくくなる。
- ・女性が珍しいので、通常業務の他に、行事や対外的な仕事をさせられる。

○女性の建設界の入職を促進するために改善が必要なもの

- ・労働時間が長い（残業が2時間を超える）。
- ・休日が少ない。
- ・イメージが悪い。（アピール不足）
- ・作業服がかっこ悪い。
- ・3K（汚い、体力的にキツイ、危険）
- ・朝早い。

○その他、自由意見

- ・将来への希望が見えない。（ロールモデルがない）
- ・転勤があると仕事を辞めていく人も少なくない。
- ・重いものを持つときなど、現場の方々に優しく接してもらえる。
- ・女性ばかりの職場よりは気を使わないで気分的には楽である。
- ・日焼けが気になる。



意見交換会の様子

5. アンケート

5-1 対象者

意見交換会に参加した女性技術者41名とその上司（男性）

5-2 実施方法

参加者（女性）は意見交換会に配布したアンケート用紙にその場で記入。参加者の上司（男性）は参加者が上司用アンケート用紙を持ち帰り、後日FAXまたはメールにて提出。

なお、アンケート内容は参加者用、参加者の上司用のどちらも同じ内容とした。

5-3 回答数

参加者（女性） 38/41 （回答数/参加者数） 回収率 92.7%

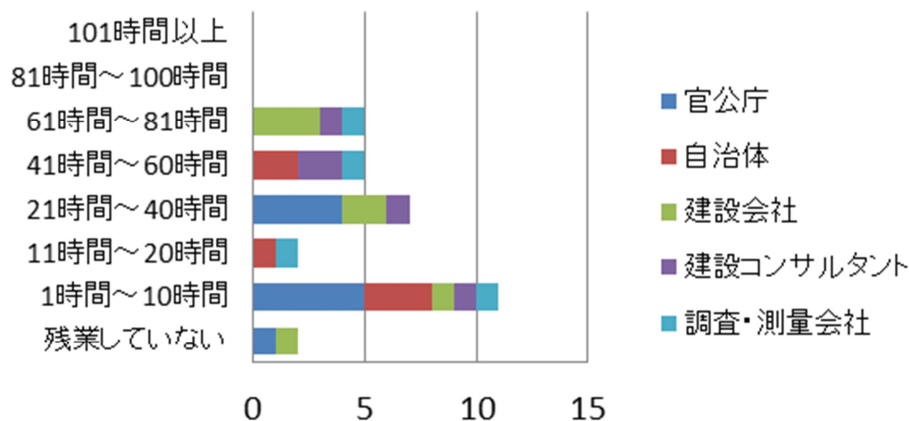
参加者の上司（男性） 17/41 （回答数/依頼数） 回収率 41.5%

5-4 主な結果

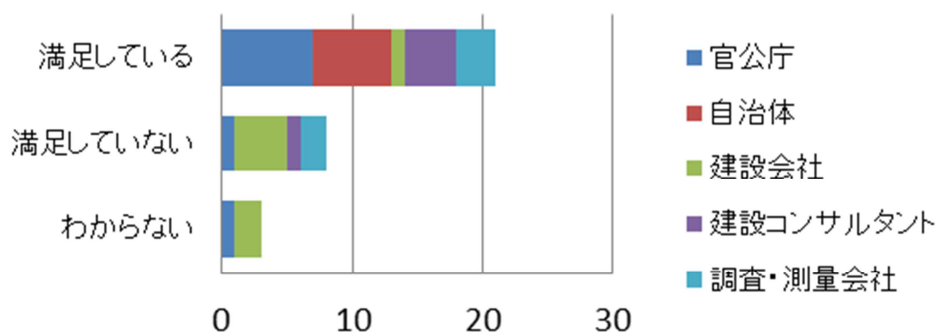
○女性全体に対する回答から

残業をほとんどしていない人（1～10時間／月）が最も多い一方で、残業時間が60時間／月を超える参加者も約1割（5人）いた。また建設会社の参加者は、休日数の満足度が低い傾向が見られた。

1か月の残業時間



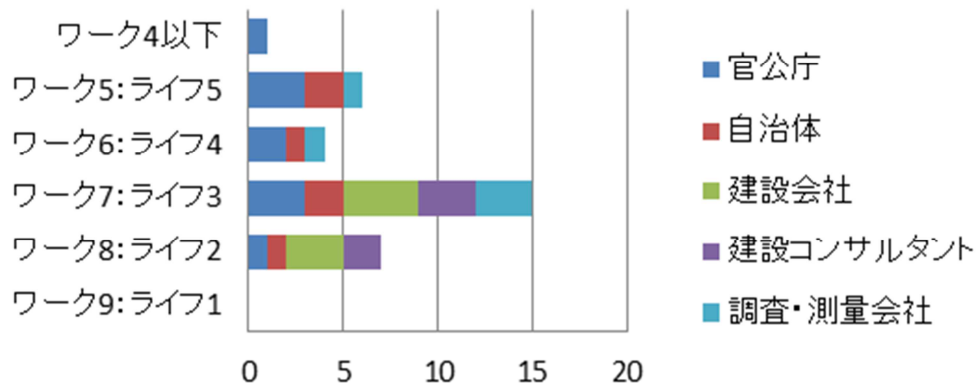
休日数の満足度



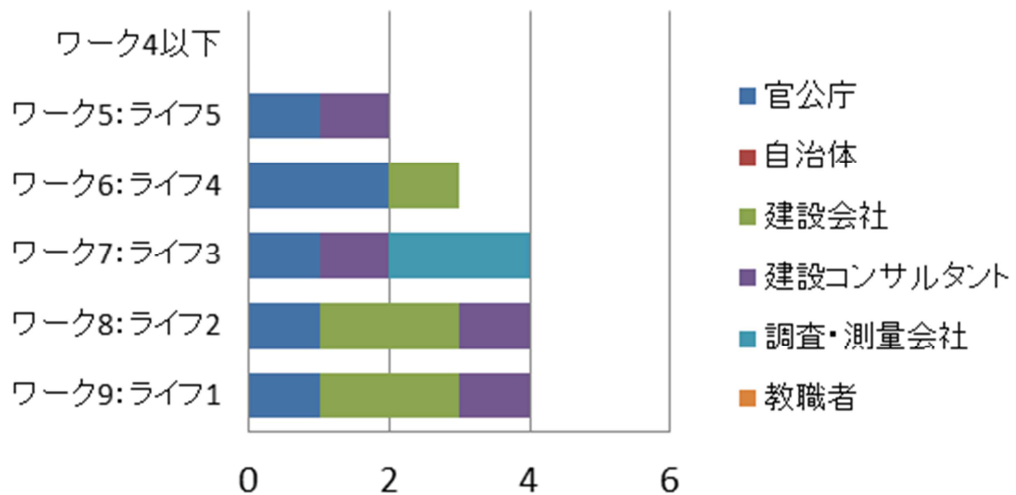
○女性と男性（参加者の上司）の比較から

男性が女性よりも仕事に傾倒する傾向である。現在のワークライフバランスにおいて、仕事の比率が高い状態（ワーク8以上）は、女性約2割に対して、男性は約5割となっている。

現在のワークライフバランス(女性)



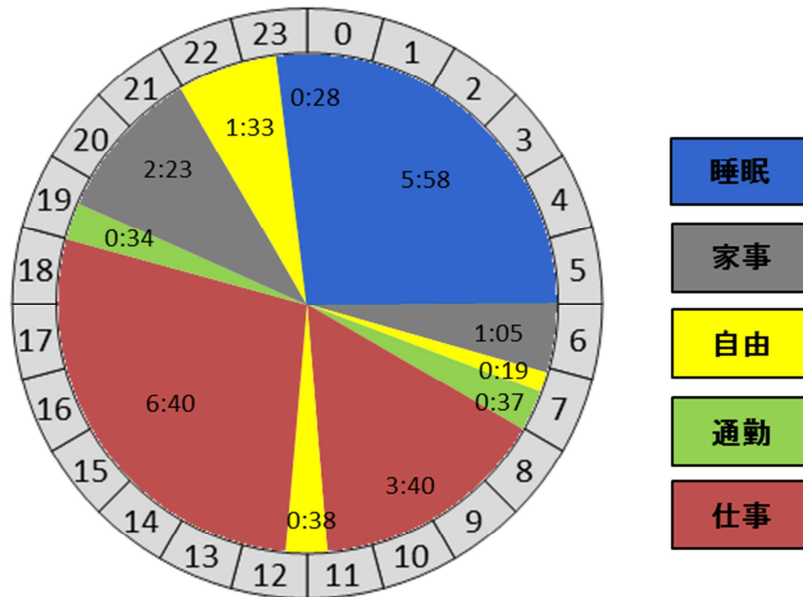
現在のワークライフバランス(男性)



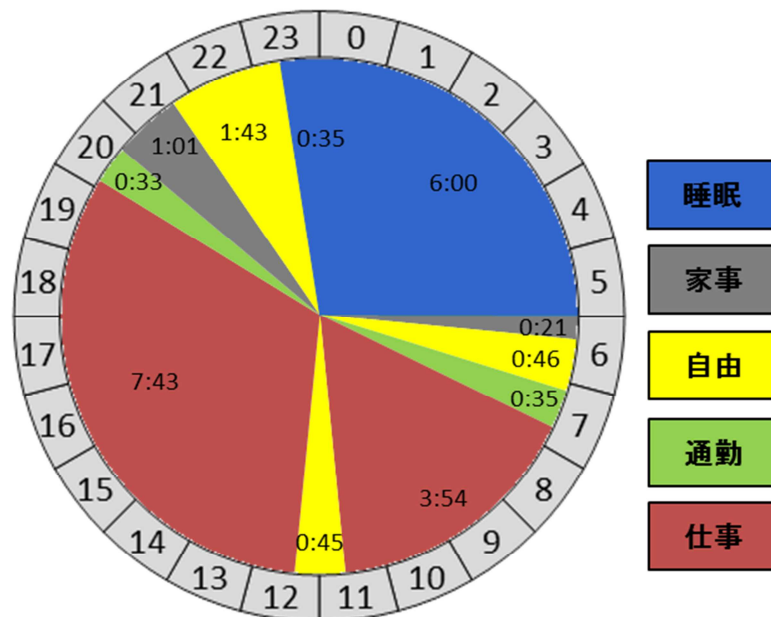
○女性と男性（参加者の上司）の比較から

現状の1日の行動パターンについては、朝夕の家事に充てる時間が、女性が男性よりも約2時間多い。一方で、仕事に充てる時間及び自由時間は、男性が女性より約1時間多い。

1日の行動パターン(現実)(女性)



1日の行動パターン(現実)(男性)



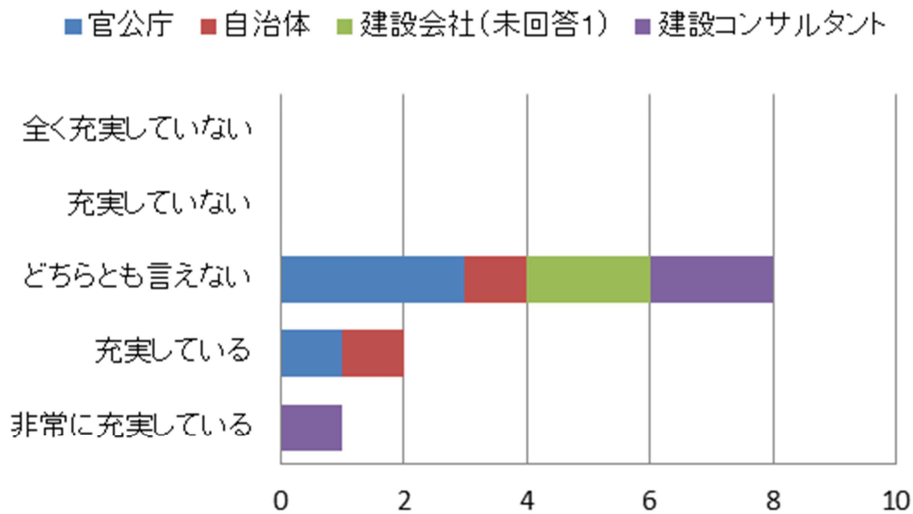
※グラフの単位は 時間：分

睡眠時間は0時を境に前後の時間を記載している。

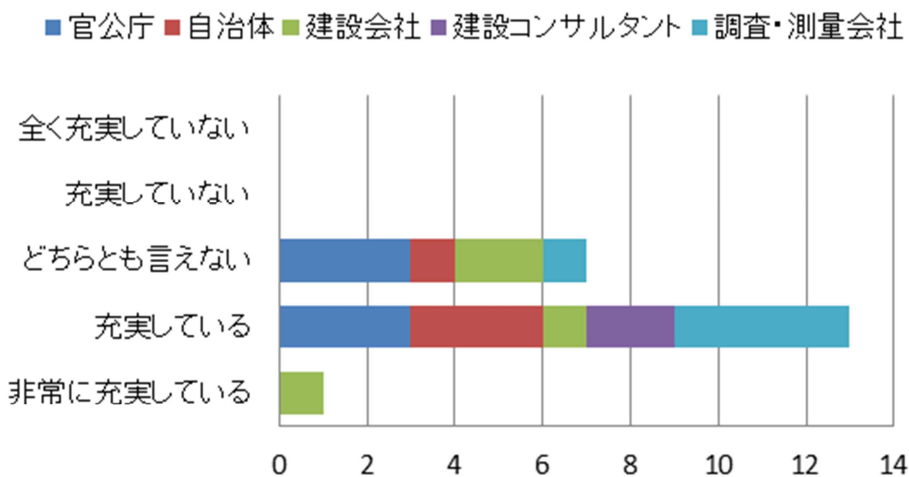
○子どもを持っている女性と持っていない女性の比較から

子どもの有無により、現在の仕事への充実感に差がみられた。子どもを持っていない方は、現在の仕事が充実していると感じている方が約7割、子どもを持っている方は約2割であった。

仕事への充実感(女性、子ども有)



仕事への充実感(女性、子ども無)



- 女性技術者が働く環境に関する自由意見では、下記について複数意見があった。
 - ・女性だという理由で事務的な仕事が多く、技術的な仕事が少ない。
 - ・拘束時間が長く、残業が当たり前の雰囲気がある。（時間内に終わらせようとする効率を求められない。）
 - ・人手（女性技術者）の不足。
 - ・育休制度、時短制度等充実しているが、実施に制度を利用しやすい職場環境であって欲しい。

- 参加者の上司（男性）の意見からも、女性技術者と同様の意見が見られた。
 - ・妊娠や育児中の会社での待遇が不透明。
 - ・人手不足で個人負担が大きい。また、職場全体に余裕が無い。

- 現場見学会・意見交換会全体に対する自由意見からは、「有意義な時間であった」「普段現場に出る機会が少ないので、良い機会であった」という意見の一方で、「見学会がもの足りなかった。」「時間が短かった。」「1日かけたかった。」という意見があった。

以上